

## 医療と福祉

責任者・コーディネーター	人間科学科心理学・行動科学分野 相澤 文恵 教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科心理学・行動科学分野、神経精神科学講座、地域包括ケア講座、救急・災害・総合医学講座災害医学分野、衛生学公衆衛生学講座、教養教育センター		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

少子高齢化が進み、疾病構造が大きく変化した現代社会において、医療と福祉は密接なかかわりを有するようになった。本科目では、医療人を目指す立場から多角的に医療と福祉について考察することを目的とする。医学、歯学、看護学、社会福祉学、社会学等の専門家による講義から、わが国における社会保障制度、障害者福祉、ソーシャルワークについて理解し、多職種連携（IPE）によるチーム医療・地域医療の実際について知見を深める。

### ・教育成果（アウトカム）

福祉の定義とその精神を理解することによって、自らの医療人イメージに福祉を組み込むことができる。また、わが国の社会保障制度、障がいの種類とそれぞれに必要なケアについて学修し、専門知識を学ぶ上での土台を形成することができる。さらに、地域包括ケアシステムの理念と医療現場における社会福祉の実際、地域社会・在宅医療の実際例を学修することによって、チーム医療実践の導入基盤を形成することができる。（ディプロマポリシー：1,6,8）

### ・到達目標（SBO）

1. 福祉の倫理と意義について理解を深めることができる。
2. 医療と福祉の密接なかかわりについて理解を深めることができる。
3. 現代社会における福祉制度と政策を理解することができる。
4. 地域包括ケアシステムについて理解することができる。
5. チーム医療における福祉の観点を理解することができる。
6. 地域医療における福祉の在り方の基本的なことがらを理解することができる。
7. 災害時医療における福祉の在り方の基本的なことがらを理解することができる。

### ・講義日程

(矢) 東 101 1-A 講義室

月日	曜日	時限	講座(分野)	担当教員	講義内容/到達目標
4/12	木	2	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	現代社会と福祉（1） 1.福祉の理念について説明できる。 2.社会福祉の変遷について説明できる。 3.現代社会における医療、保健、福祉の関りについて説明できる。

4/19	木	2	心理学・行動科学分野	藤澤 美穂 助教	現代社会と福祉(2) 1.身体障害、知的障害、精神障害について説明できる。 2.子どもへの福祉的支援について、必要な視点を述べるができる。 3.障がい児・者や子どもを支援する援助職の役割を述べるができる。
4/27	金	1	神経精神科学講座	八木 淳子 講師	現代社会と福祉(3) 1.発達障がいの種類と治療について説明できる。
5/10	木	2	教養教育センター	相馬 一二三 非常勤講師	現代社会と福祉(4) 1.高齢者福祉について説明できる。
5/17	木	2	看護学部地域包括ケア講座	野村 陽子 教授	地域と福祉(1) 1.病院におけるソーシャルワークについて説明できる。
5/24	木	2	教養教育センター	森谷 俊樹 非常勤講師	地域と福祉(2) 1.地域包括ケアシステムについて説明できる。
5/31	木	2	教養教育センター	高橋 智幸 非常勤講師	地域と福祉(3) 1.障害者を取りまく状況に関して今日までの経緯を学び、障害者への福祉制度の変遷と現状について説明できる。 2.障害者の相談支援について理解し、地域における支援に必要な視点と方法を述べるができる。
6/7	木	2	救急・災害・総合医学講座	眞瀬 智彦 教授	地域と福祉(4) 1.災害医療における福祉の役割について理解できる。
6/14	木	2	衛生学公衆衛生学講座	佐々木 亮平 助教	地域と福祉(5) 1.健康格差社会について説明できる。 2.実例をもとにしてヘルスプロモーションについて説明できる。
6/21	木	2	教養教育センター	最上 玲子 非常勤講師	現代社会と福祉(5) 1.ボランティア活動の実際について説明できる。
6/28	木	2	教養教育センター	竹村 祥子 非常勤講師	現代社会と福祉(6) 1.東日本大震災時の医療と福祉の関係について、家族社会学的考察が理解できる。
7/6	金	5	教養教育センター	安田 敏明 非常勤講師	地域と福祉(6) 1.僻地医療、国際医療協力の実際について説明できる。

7/12	木	2	教養教育センター	高橋 栄子 非常勤講師	地域と福祉(7) 1.訪問看護の実際について説明できる。
7/19	木	2	心理学・行動科学分野	相澤 文恵 教授	まとめ 1.医療人としての福祉への関わりかたについて説明できる。

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
登録済の教科書・参考書等はありません				

・成績評価方法

受講態度 10%、課題へのとりくみ 60%、レポート 30%によって評価する。

・特記事項・その他

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認すること。オムニバス形式の講義から得た幅広い知識を身に着けるため、各回の講義の最後に学習内容の確認を行う。解説とフィードバックは講義最終日に行う。

提示した課題の中から1題を選択してレポートを作成し、提出することを求める。

本科目は「医療と福祉」について、「現代社会と福祉」と「地域と福祉」の2面からアプローチするように系統だてている。各講義に対する事前学修（予習・復習）として、前回講義の配布資料を基にして学習内容を再確認すること。時間は最低30分を要する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC(dynabook R634/K)	1	講義資料の提示
講義	デスクトップ型 PC (HP Compaq Pro 633 SFF)	1	講義資料の作成
講義	書面カメラ・DVD プレーヤセット	1	資料の提示